

平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定3

千葉県立生浜高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

三部制の定時制の特色を理解し、学校生活に対し意欲的に取り組もうとする強い意志があり、次のア～ウの要件の全てに該当する生徒。

ア 継続的に学習に取り組み、自分の進路実現のために努力する姿勢があること。

イ 目標を持ち、時間を有効に活用して高校生活をより良く創造する意欲があること。

ウ 自らを律して、学校生活や社会のルール、マナーを理解し遵守する態度があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：4分程度
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（志願者が出願時に申告した3教科は、100点満点の得点を3倍してそれぞれ300点満点、他の2教科は、それぞれ100点満点）を合計した1100点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間皆勤である場合は評価する。
ウ 行動の記録	○の数が5つ以上の場合は、総合的に判定する際の参考とする。 ○の数が0又は1つの場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容について問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 面接

3名の評価者が、次の4つの評価項目について、各評価基準に基づき、A（優れている）・B（標準的である）・C（やや問題がある）・D（問題がある）の4段階で評価する。評価Dが1つでもある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 表現への意欲	文章表現に意欲的に取り組むことができる。
イ テーマの理解	テーマについての的確に理解・考察できている。
ウ 表現の内容	文章表現の内容が整理されており、まとまっている。 文章表現が具体的で説得力がある。
エ 表現の能力	文章表現における作文の基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに分かりやすい文章を書くことができる。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	入学の意志について明確に説明されている。 記載内容については、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	記載内容については、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合は、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。